

シラバス情報

授業方法	講義 ・ 実験 ・ 実習		
系 列	自動車整備		
科 目 名	シャシ整備		
必修・選択	必修科目 ・ 選択科目		
対象学科	一級自動車整備科		
年次学期・曜日・時限	3年後期 ・ 月曜日 ・ 3 ・ 4 時限		
時 限 数	1 8 時限（期末試験を除く）		
担当教員名	池上 健史		
実務経験	(有) ・ 無		
	国土交通省に認証された事業場における保守・点検・分解・組立など自動車整備士としての経験を活かし、整備を行う上で必要となるシャシ電子制御、構造・作動についての講義を実施する。		
授業の目的	現在の自動車は安全性の向上、操縦安定性の向上、快適性を重視する観点から各装置の電子制御化が進んでいる中、一級自動車整備士に必要な新技術の知識（構造・機能・点検・整備）を講義する。		
テキスト	①一級自動車整備士 シャシ電子制御装置（日本自動車整備振興会連合会 発行） ②一級自動車整備士 自動車新技術（日本自動車整備振興会連合会 発行）		
授 業 計 画			
授業回数	テーマ	内容・方法等	使用テキスト 範囲
第 1 回	A B S（アンロック・ブレーキシステム）概要 (1) 論理 (2) リニア (3) 周波数信号センサ	A B S の概要 (1)論理(2)リニア(3)周波数信号センサの構造・機能・点検方法を学習する。	① P147～P168
第 2 回	A B S アクチュエータ スッチング駆動アクチュエータ 1	ポンプモータ及びリレーの構造・機能・点検方法を学習する。	① P169～P178
第 3 回	A B S アクチュエータ スッチング駆動アクチュエータ 2	モジュレータバルブの構造・機能・点検方法を学習する。	① P179～P185
第 4 回	A B S アクチュエータ スッチング駆動アクチュエータ 3	ABS制御の回路構成、フェイル制御を学習する。	① P186～P188
第 5 回	A B S アクチュエータ スッチング駆動アクチュエータ 4	車両安定制御装置の概要 ABSの構造・機能を学習する。	② P113～P119
第 6 回	A B S アクチュエータ スッチング駆動アクチュエータ 5	ブレーキアシストシステム、トラクションコントロールの構造・作動を学習する。	② P120～P122
第 7 回	A B S アクチュエータ スッチング駆動アクチュエータ 6	ブレーキアシストシステムの作動 トラクションコントロール	② P123～P125
第 8 回	A B S アクチュエータ スッチング駆動アクチュエータ 7	V S C S 構成部品 を学習する。	② P126～P128
第 9 回	A B S アクチュエータ スッチング駆動アクチュエータ 8	V S C S の作動 システム強調制御を学習する。	② P129～P136
	期末試験	第1回～第 9 回までの授業内容に関する 筆記試験	

到達目標	車両制御安定装置（ABS、ブレーキアシスト、トラクションコントロール、VSCS）の構造、作動、制御、点検、整備を修得する。
成績評価方法	平常点（小テスト、レポートやノートの提出とその評価、出席及び授業態度）、期末試験を合算して行う。
定期試験受験資格	開講された全時限に出席し、レポート・ノートの提出が完了している者。 欠席した時限がある場合は、補講も完了している者。
成績評価基準	<p>成績評価は、期末試験の点数が50点以上を満足した上で、100点を満点とする整数について、次の割合で行う。</p> <p>期末試験の点数 80 % 平常点 20 %</p> <p>上記の割合によって学期末の評点が70点以上である場合、以下により評価する。 70～79点＝良、80～89点＝優、90点以上＝秀</p> <p>70点未満の場合、再試験を行い、試験点のみで70点以上のとき履修を認定し、成績は70点＝良とする。</p>
成績評価できない場合の基準	全講義を終了時点の出席率が50%を満たしていない場合、 又は、成績評価が70点未満の場合。